

# 特定行為研修 修了者の現状

No. 2

在宅や入院生活に問題を抱えた患者さんに関わる機会が増えました。時には、関わり方に悩むこともありますが、研修で得た新たな医学的知識を生かし、専門的なアセスメントやケアを行うことで質の高い医療が提供できるよう心がけています。 2016年修了 精神関連



2019年修了 精神関連

一般病棟に入院された患者さんに ICDSC シートを用いたせん妄リスクアセスメントを行い、せん妄の早期発見に努めています。高齢者や手術後、不眠、ベンゾジアゼピン系薬剤を服用されている方の回診を行っています。せん妄リスクの高い患者さんは、院内で活動している精神科リエゾンチームにコンサルテーションし、早期介入ができるような連携をしています。

2016年度 修了 精神関連

一般病棟、回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者さんの不眠やせん妄症状を中心に介入し、多くの特定行為を行いました。薬剤使用に関する感覚も自分なりにわかり、医師や特定看護師同士で情報交換もできています。今後は退院後の患者さんが地域で生活するサポート考え準備しているところです。



院内では禁煙外来、NST回診、個別患者さんの栄養検討を行い、院外では、訪問看護に同行しています。学びをどのように活かせるか試行錯誤する日々ではありますが、医学的側面と看護の側面から学びが還元できるよう日々自己研鑽しています。2018年度修了

栄養及び水分管理

外来で糖尿病患者さんに診察前の問診、身体診察、生活指導を行い、診察時に必要な情報を医師に伝えています。また、療養支援が必要な場合、家族、多職種と連携し継続的療養支援を行っています。禁煙外来では初回診察時に禁煙補助薬選定支援、毎回診察前に問診、身体診察、禁煙支援を行っています。患者さんに、看護・医学的視点の両方から関わることにより、患者さんの健康支援に貢献できていると感じています。

2018年度修了 血糖コントロール

2020年9月28日